



住所 〒292-8535 千葉県木更津市桜井1010

TEL 0438-36-1071

## ● 病院の概要



病床数	一般… 636床	療養… 0床	結核… 18床	精神… 0床	感染… 6床
1日平均外来患者数	1103人	医師数(常勤)	125人		
1日平均入院患者数	468人	指導医数(再掲)	58人		

## ● 妊娠・出産・子育て中の勤務環境

■ 妊娠・出産			■ 育児		
当直免除	※ 時間外勤務免除	※ 短時間勤務制度	当直免除	※ 時間外勤務免除	※ 短時間勤務制度
			院内保育園	院内学童保育	

[※]は「診療科による」等の条件あり、「-」は制度なし

## ● 臨床研修

■ 2023年度研修受入数	1年目	14名	2年目	14名
■ 処遇 ①基本給	1年目	297,146円/月	2年目	307,699円/月
②賞与・手当	期末手当、住居手当、通勤手当等			
③当直	回数	ローテート科により変動		
	当直料	ER 22,600円/回、副直 11,300円/回		
④休暇	土日祝日、有給休暇初年度10日付与			
⑤保険適用	健康保険、厚生年金、労災保険、雇用保険			
⑥宿舎	なし			
■ 出願期間(予定)	2024年7月1日	～	2024年7月20日	

## 【臨床研修の特徴】

本院の臨床研修プログラムの特徴は、地域中核病院としての君津中央病院本院、地域包括医療ケアを学ぶ君津中央病院大佐和分院及び玄々堂君津病院、保健行政を学ぶ君津健康福祉センター、北の国北海道の地域医療を学ぶ日高徳洲会病院と、それぞれ特色のある施設で構成されております。これらの各施設の特徴を生かし、各施設一体となった質の高い卒後臨床研修プログラムを提供しています。医師は患者さんの人権を守り、疾病を治療するのみでなく、人の暮らしや地域全体を俯瞰する視点を持った医療人を育てることを目標としています。

## 【病院の特徴】

東京湾アクアラインの千葉県側の起点である木更津市に所在し、人口約33万人の君津医療圏を支える公立病院です。標榜診療科33科、病床数660床、3次救急病院として急性期医療を担い、県内に2か所あるドクターヘリ基地病院の1つでもあるため、県内屈指の症例数を誇ります。「地域医療支援病院」「地域周産期母子医療センター」「基幹災害拠点病院」など各種指定を受けている地域の基幹病院です。

## 【プログラム責任者・指導医からのメッセージ】

本院では様々な分野で地域の基幹病院として役割を果たしており、多くの症例が集まります。各科で日々地域医療に奮闘している指導医や上級医の先生方から、現場に即した知識や経験を学べる環境です。医学部で学んだ沢山の知識を礎に初期研修の2年間で実力をつけたい、専攻医として初期研修で身につけた総合力をブラッシュアップしながらご自身の専門性を高めたい、そんな先生方に最適な場です。研修中には多職種によるチーム活動にも参加できるので、そこから新たな気づきや視点を得ることもあると思います。都内県内から少し足を伸ばしていただく必要がありますが、ぜひ一度ご自身の目で見にいらしてください。

## 【先輩研修医からのメッセージ】

本院の魅力は3つあります。一つ目は自由度の高いプログラムです。志望科に添って研修する科を決められる選択期間が長く、診療科も多いため、将来を見据えた研修ができます。二つ目は手厚い指導下で経験できる手技の多さです。手順の勉強は必須ですが、上級医の指導下でその手技を行うことができます。フィードバックだけでなく、再挑戦する機会も頂けるので成長を実感できます。三つ目は、研修医の雰囲気の良いことです。積極的で快活で、真面目な人が多いため、互いに切磋琢磨し合えます。是非見学に来て、その雰囲気を感じてみてください。

## ● 専門研修

■ 基幹となっている基本領域	内科	小児	皮膚	精神	外科	整形	産婦
	眼科	耳鼻	泌尿	脳外	放射	麻酔	病理
	臨検	救急	形成	リハ	総診		
■ 処遇 ①給与モデル(5年目参考・当直料込)	約 800万円/年						
②休日休暇	土、日、祝日						
③保険適用	各種保険あり						
④宿舎	なし						
■ 連携施設となっている基本領域	内科	小児	皮膚	精神	外科	整形	産婦
	眼科	耳鼻	泌尿	脳外	放射	麻酔	病理
	臨検	救急	形成	リハ	総診		

## 【専門研修の特徴】

- ・内科  
千葉大関連施設であり、また基幹病院として積極的に専攻医を受け入れております。症例数が豊富で指導体制も整っており充分な経験と技量が修得できます。(責任者:駒嘉宏)
- ・小児科  
症例は豊富で、きめ細かく研修を行うことができます。(責任者:諏訪部信一)
- ・外科  
千葉ろうさい病院、亀田総合病院、国保旭中央病院、千葉医療センター、成田赤十字病院と連携したプログラムです。いずれも指導医と症例数が豊富で、修了後は千葉大学の各外科講座入局等のキャリア形成を援助します。(責任者:海保隆)
- ・救急  
救急科専門医の責務は疾患の病態に関わらず初期診療にあたり、緊急度、重症度に応じて迅速かつ安全に診療を進め、集中治療の中心的役割を果たすこと。地域全体の安全を維持できる医師育成が目標です。(責任者:北村伸哉)
- ・総合診療  
山武長生夷隅医療圏を含めた11の連携病院において地域に根差した病院での研修を行うことができます。(責任者:内田真一)